



発行：NPO 法人シャローム事務局

〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL / FAX 024-567-5322

Web <http://www.nposhalom.net>
E-mail info@nposhalom.net

発行責任者：大竹静子

「ひまわりプロジェクト」グッドデザイン賞を受賞！

二〇一五年度グッドデザイン賞 「地域・コミュニティづくり、 社会貢献活動部門で受賞」

全国の皆さんの支援を受けて行われてきた「ひまわりプロジェクト」が二〇一五年のグッドデザイン賞に選ばれました。地域・コミュニティづくり/社会貢献活動部門での受賞となります。

なぜ、「ひまわりプロジェクト」がグッドデザインなのか。これを知るためにはグッドデザイン賞が考える「デザイン」を理解する必要があります。これを次のように説明しています。「世の中では様々な意味合いで「デザイン」という言葉が用いられており、『デザイン』という言葉の解釈は人によって違います。その多くは(1)名詞としてのデザイン(物事のかたち、アピランス)(2)動詞としてのデザイン(新たな物事を考え生み出すという行為)へと集約されるといえます。

グッドデザイン賞では、デザインという言葉を中心に『2』の動詞として考え、『デザイン』は我々の生活をより豊かにする



ための『終わりのない継続的な創造的思考活動』と定義します。「さらに、これに基づく判断基準を『デザインを『活動・行為』として見た時、そこに求められるものは『思想や理念』であり、新しく生み出された物事はその『ひとつの解』として位置付けられます。グッドデザイン賞においては『そのひとつの解が目的に対して適切であるか?』ということも問いますが、その解を導き出すにあたって定められた思想や理念またその解を導き出すまでの方法論にも重きを置き、『今後の社会において創造の連鎖を導くものであるのか?』ということも同時に問います。この点がグッドデザイン

ン賞の大きな特徴です。「この要件を「ひまわりプロジェクト」は満たしていると評価されたのです。

「ひまわりプロジェクト」は、原発事故後のふくしまを思い、支援しようとする全国の皆さんの優しい思いやりの連鎖で広がってきました。ひまわりの栽培という身近な行為が福島に繋がり全国に繋がっていく。その結果が今年も、まもなくひまわり油「みんなの手」となります。人の優しさの連鎖が、新たな交流を生み、人間関係を紡ぎ、新たな創造を生み出していくことを「これからの社会において創造の連鎖を導くもの」と評価されたものと思います。

今年も「ひまわり感謝祭」が十二月十二日(土)に開催されます。「ひまわりプロジェクト」の一年間の成果報告の場となります。栽培に参加した皆さんの「わたしの『ひまわりプロジェクト』」の記録をお送りください。また、交流会や「ひまわりが繋ぐ地域間交流の成果と課題」というフォーラムの開催も計画されています。

時と場所を越えて皆さんとともに作り上げていくのが「ひまわり感謝祭」です。今から様々な形で参加を予定していただきたいと思えます。この機会に福島での交流会にぜひご参加ください。(T・O)

日に日に日が短くなっていく。秋の夕暮れは早くなぜか心も沈んでいく。木々の葉は最後の命を赤く染めその短い一生を終える。新緑の命の輝き、真夏の太陽、エネルギーを一杯取り込み枝葉を成長させ、寒い冬に向かつてその身を焦がし枝から離れていく。その身は地面に落ち、木の根元に葉っぱのじゅうたんを造る。春に生まれる新たな命のために。

ひまわりの種が全国から届いている。春に芽を出したひまわりは、大輪の花とともに広げた大きな葉で夏の太陽を受けとめ種の中にそのエネルギーをいっぱいため込んできた。その種が多くなると、その種が一生に多くの人たちが関わり、その中で、ひまわりが多くなると、ひまわりが命の成長に一喜一憂しながら命の関わりを知る。

一個の命は新たな命のためにその身を捧げ、それを糧にして新たな命は成長する。秋は人の心を感傷的にさせる。還暦を過ぎると人生も後半に入ってきたことを思う。新たな命の成長に役に立つためにこの残りの命を使えればと思う。(T・O)